

一、一七災害メモリアル 一年一組 <sup>19番</sup> 辻本千尋

私の出身地は、兵庫県伊丹市だ。たの  
か、私が生まれて間もない時に、私は大阪府  
貝塚市へ、姉は、おばあちゃんの家へ、父は  
仕事場へ行っていた。

当時、私は一歳と六、七カ月ほどだ。たの  
で、何も覚えていませんが、母の話によると、  
大阪は被害が無かったそうです。でも、伊丹  
の方は、地震後でもひさんなじょうたいだ。  
たそうです。あと、姉があずけられていた、  
おばあちゃんの家も、食器棚が倒れて、食器

か割れたりして、とても大変だ。たそうです。  
おばあちゃんの家は、兵庫県西宮市にあるの  
ですが、淡路島からは、けこう離れている  
のに、被害は凄か。たと聞いて、地震の威力  
とは、私達が予想もできないほど、とてつも  
なく強いのだな。と、思いました。

地震の恐ろしさは、予知が出来ないところ  
か、最大の恐怖だと思えます。例えば、雷な  
ら、必ず雨が降っているか、天気か悪くない  
と、雷は落ちたりしません。しかも、津波な

ら、海水が引いてからしかきません。台風な  
ら、台風が来る前は、たいしていても静か  
す。なので、ある程度の予測なら可能です。  
でも、地震は予測をすることが出来ません。  
私は、地震を実際に体験したことはありません。  
す。でも、それは、震度一、二のレベルであ  
り、阪神淡路大震災の時のように、震度七ぐ  
らいは見たことも感じたこともありません。  
東京の方だったように思います。地震が、  
いつきてもいいように、いたるところで、対  
作を練っているところを、テレビでみたこと  
がありません。そのとき、この神戸にも、い  
つきてもいいような対作を、も、と身近で、行  
えば、いいのに。と、思いました。前にきたか  
ら大丈夫。とか、なんとかなるさ。いや、なく、  
も、と身近で、対作を練って、も、と身近に、  
自分のことのように、思、て、動いてほしいし、  
思、てるだけじゃなく、実際に行動に移して  
いきたいと思います。そして二度と、前のよ  
うなことを起こさないようにしたいです。